

国立市防災会議議事要旨

平成 28 年 7 月 27 日（水）13：30～14：39

○委任状の交付、自己紹介等

市長の挨拶後、新たに委員に就任した増田委員、渡辺委員、鈴木委員、杉浦委員、伊藤委員に対して委嘱状の交付を行った。欠席の新任委員の乙守委員は、紹介のみ行った。委嘱状の交付後、各委員自己紹介を行い、事務局の紹介を行った。

○議題

（1）平成 27 年度訓練実施状況について

資料 1-1 及び資料 1-2 に基づき説明した。

【古家委員】 No.2「災害対策本部設営訓練」について、実際に机の配置や PC などの機器の配置について検討したと思うが、建物内にある非常用電源の稼働についても訓練に盛り込んだか？

【事務局】 昨年度から開始した訓練でまだそこまでの検討はできていない。

【古家委員】 実際に PC を置く場所が非常用電源につながった場所かなども確認しながら訓練をした方がよい。

【事務局】 今年度より確認し改善していきたい。

【原田委員】 私立の学校及び保育園、幼稚園の防災についてはどのように考えているか。

【事務局】 連携を密にするとといった訓練は現在実施できていない。実際の担当部署は子ども家庭部となるが、災害対策本部の事務局である行政管理部でもより連携を図れるよう何か働きかけを今後行っていければ、と考える。

【市長】 公立保育園はどのようになっているか。

【事務局】 公立保育園は、連携はできているが、災害時それぞれの園がどこまで役割を認識しているかが不明である。このことについては計画の周知を含め事務局が課題としているところである。それぞれの課の役割の周知についてはこの後説明する今年度の訓練で改善を図っていければと考える。

（2）平成 28 年度防災訓練計画について

資料 2 に基づき説明した。質疑等は次のとおり。

【田中委員代理】説明いただいた訓練の中で、市民としてはやはり総合防災訓練が重要と考える。総合防災訓練は関東大震災の教訓として9月1日の防災の日から一番近い日取りで実施していると思うが、8月の実施はかなり暑く、参加者にも負担がかかると思う。昨年は500人が参加しているが、人が集まりやすい時期、熊本なら4月、東日本なら3月といった形で、より費用対効果がある時期での検討を来年度以降お願いしたい。

【事務局】総合防災訓練は先ほどあったように防災の日を基準に夏に実施しているが、ご意見あったように実施時期を変更するなど柔軟に対応検討していきたい。

【市長】田中委員代理からあったように、遡れば阪神淡路が1月、熊本が4月ということを受けて、関東大震災の教訓という意味で9月1日は重要だが、市の総合防災訓練の実施時期については近年の災害時期も加味し対応できればと思う。

(3) 国立市総合防災訓練について

資料3に基づき説明した。質疑等は次のとおり。

【市長】 医師会の先生にお伺いしたい。先日神奈川県で凄惨な事件（※）があったが玄関先に本部が設営され、中でDMATなどが活動しているようであるがあそこでトリアージなど実施していたのか？

（※）平成28年7月26日午前2時38分、相模原市緑区千木良にある障害者施設から神奈川県警察と相模原市消防局にそれぞれ、「刃物を持った男が暴れている」との通報があった。事件に気づいた施設の当直職員が、電話で確認の上警察に通報した。現場に駆け付けた医師が19人の死亡を確認し、重傷の20人を含む負傷者26人が6か所の医療機関に搬送された。

【北澤委員】トリアージは通常病院に行く前で行いその後病院に搬送するなど決めている。なので、あの場でもおそらくトリアージはやっていたのではないか。

【松浦委員】福祉避難場所として郵政研修センターが在宅医療の方向けに利用できるかと聞いたが今回の訓練には記載がない。今後福祉避難所との連携も訓練の中に盛り込んでいただきたい。

【市長】福祉避難所については議会でも議論があり、市内では障害者スポーツセンターを災害時に障害を持つ方だけの施設として利用できないか、など意見をいただいた。都としては、同施設は帰宅困難者用と考えているが今後市の方で意見を反映できるよう取り組んでいく。いただいた意見についても今後検討していく。

【原田委員】 以前にもお話したが、市内では消防の救急車は1台と少ないが、当社ではリフト付きの搬送に使える車両が10台ある。また、普通のタクシーにも防災グッズを積んである。協定の締結でもよいが、そのような機材を活用する場がない。以前同じように提案をしたが、市からのリアクションがなかった。他にストレッチャーや酸素ボンベなども持っており、有事の際の活用について検討いただきたいと思う。

【事務局】 以前からそのような提案に対しリアクションができておらず大変申し訳ない。今年度協定先との連携の訓練の実施を予定しているため、その中の一環としてこちらから何か提案できればと思う。

【原田委員】 職員の中にヘルパーなどもいるためお役に立てると思うので検討いただきたい。

【市長】 医療行為が伴うものもあるため、協力体制構築の過程においては、事務局は医師会などと十分に相談し進めていくこと。

【遠藤委員】 災害時、市で災害対策本部が設立すると思うが、市役所に市民の方が多数おしかけると思う。自分の地域でも市役所に行けば何とかしてくれるという考えの人がいる。そのような人たちの対応を想定した訓練も実施してみてもどうか？

【事務局】 市民への防災の意識づけや情報の発信はご指摘のとおり市からもしていく必要がある。やり方については今後内部で検討し実施できればと思う。

【市長】 去年の常総市の水害の際は、国と市の連携がうまくできなかったと管轄の河川所長が発言をしていた。国立では災害時やはり市役所が中枢になると思う。その際いろいろな要望がでると思うが、諸条件の整備を今後進めていき対応したいと思う。

【古家委員】 市民の避難誘導に関しては市と協定を締結し、電柱の広告の下部に避難場所などへの矢印を入れる事業を進めている。設置にはスポンサーが必要だが今後増えていけば良いと思う。

(4) その他

高木委員より災害時伝言ダイヤルについて、①従来の電話による伝言ダイヤルとWeb171の近年の実績、②それぞれの機能拡充について説明があった。質疑等は特になし。

増田委員より、神奈川県的事件への東京消防庁への対応の報告があった。現場

に向かった救急隊には国立の1隊も含まれていたとのこと。今後、総務省消防庁を通じ活動の報告や検証があった際、国立市にも情報提供したいとのこと。質疑等は特になし。

事務局より本日欠席の池上委員から配布依頼を受けた資料があることを伝達。内容については後ほどご覧いただきたい、と連絡した。

以上